

UDP-N-アセチルグルコサミンキナーゼ

Cat. No. EXWM-3007

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 毒素-抗毒素 (TA) モジュールの毒性成分。UDP-N-アセチル-D-グルコサミンのリン酸化は、細胞壁合成の最初の確定的なステップである EC 2.5.1.7、UDP-N-アセチルグルコサミン 1-カルボキシビニル転移酵素の阻害を引き起こし、その結果ブロックされます。この酵素の活性は、酵素が結合する ϵ 抗毒素に結合すると阻害されます。

別名 UNAGキナーゼ; ζ トキシン; トキシン PezT; ATP:UDP-N-アセチル-D-グルコサミン 3'-ホストランスフェラーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.7.1.176

反応 $\text{ATP} + \text{UDP-N-acetyl-}\alpha\text{-D-glucosamine} = \text{ADP} + \text{UDP-N-acetyl-}\alpha\text{-D-glucosamine 3'-リン酸}$

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間の保存には+4 °Cで保管してください。長期間の保存には-20 °C~-80 °Cで保管してください。